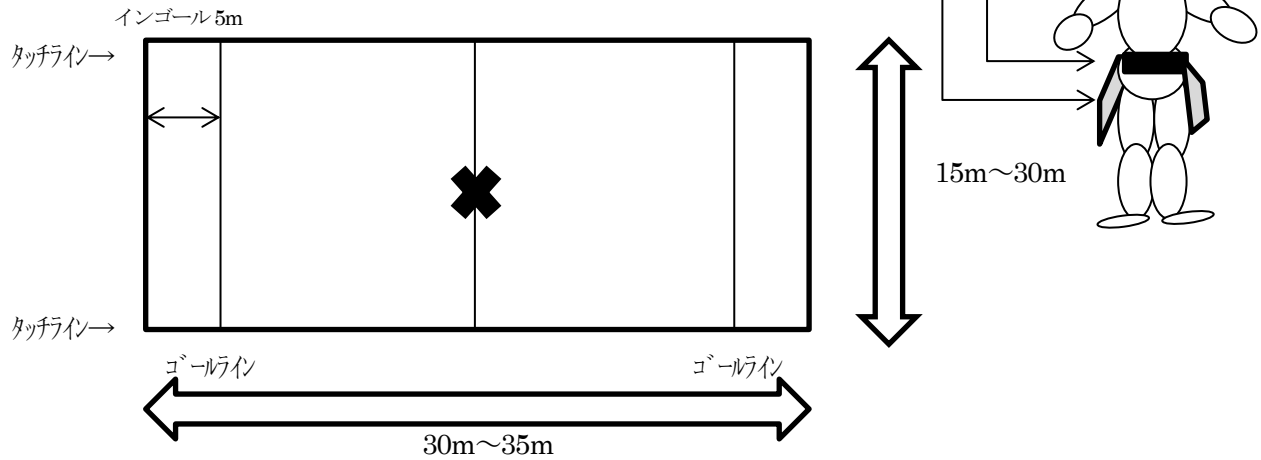


## ○ 基本的なルール：タグラグビー

○準備物：タグ・タグベルト（人数分）、ラグビーボール（ゲームでは1個）

○コート



○人数と時間：1チーム4人（初期段階）～5人まで  
5～7分ハーフ（体力や気候に応じて）

○ゲームの始め方

- ・じゃんけんでボールを選んだチームが **X** から後方へのパス（フリーパス）で始める。  
（パスをもらう子は2m以内の近距離で止まってもらう。ディフェンス側はセンターラインより5m以上離れる。）

○ゲームの進め方と得点

- ・攻める側のプレーヤーが相手側インゴールの中にボールを持って走り込み、ボールを置けば「トライ」となり1点入る。（点が入ったら、中央の **X** からフリーパスで再開する。）
- ・パスは自分より前方でなければ、いつ、誰にしてもかまわない。  
前方に投げればスローフォワードという反則になり、その場から相手のフリーパスになる。

☆**タグについて**

ボールを持って走っている相手側のプレーヤーのタグを取ることで、相手の動きを止めることができる。タグを取ったら頭上に上げて「タグ」と叫ぶ。取られた側はすぐに止まり、3歩以内もしくは3秒以内に味方にパスをする。（このパスをディフェンス側はカットできない。すればオフサイドという反則になる。）このパスは走りながら受け取ることができる。（むしろ走ってもらうことが大切）

審判は「タグ1」「タグ2」と数え、タグ4になれば、ターンオーバーで、その位置から相手側のボールになる。

ゴールラインを越えた位置でのタグは、ゴールラインより5m下がった位置からのフリーパスで再開する。

取ったタグは必ず手渡しで返す。その間はどちらもプレーできない。（手渡し完了で復帰）

☆**反則について**

オフェンス側：タグを取られないように隠したり、取りに来た手を払ったりすること。

：タグを取られた後、3歩以上進むこと。（オーバーステップ）

：タグを取られないようにくるくる回ったり、相手にぶつかって行ったりすること。

ディフェンス側：ボールを持った相手の体に接触したり、手を広げて守ったりすること。

どちら側でも反則になること

：ボールを蹴る、地面に向かってダイビングしてボールを取ったりトライしたりすること。

→反則があった場合は、その位置から相手側のフリーパスになる。（ディフェンス側の反則の場合、タグのカウントは0に戻る。）フリーパスの時、相手は5m以上離れなければならない。タッチラインからボールが出たり、ボールを持ったプレーヤーがタッチラインを踏んだりした場合も同じ。